

再稼働阻止-全原発廃炉へ!

4/19

法大デモ

文科省包囲行動

3月11日の「原発いらない! 福島県民大集会」に、郡山市・開成山球場を埋め尽くす16000人が大結集!

原発事故から1年の3月11日、「原発いらない! 福島県民大集会」で、全国から駆けつけた16000人が「すべての原発いまずくなくそう!」の声をあげました。

福島からは母親・農民・漁民・高校生など6人が発言し、「人間と原発は共存できない」「頑張ろう日本ではなく、変えよう日本」「人の命も守れないのに、電力とか経済とか言っている場合ではない」と、1年間の渾身の思いを訴えました。参加者全員が、全原発の廃絶へ向けての決意を固めました。

分断をのりこえる多くの人たちの怒りと行動で、残る原発はあと1基! しかし政府は再稼働を狙い、「事故収束宣言」で避難民に帰還を強制しようとしています。そのための「放射能安全キャンペーン」を行っているのが、大学と文科省です。「原発神話」が破綻しても反省することなく、デマを流し続ける大学と文科省は許せません! 学生は「フクシマの怒り」と連帯し、未来をかけて大学と文科省に責任をとらせよう! 4月19日は法大デモ - 文科省包囲行動へ!

「原発再稼働阻止! 不当処分を撤回しろ!」法大包囲デモ

4月19日(木) 正午 法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

文部科学省申し入れ-包囲行動

4月19日(木) 15時 経済産業省前テント集合
「20¹⁵シーベルト基準」撤回を求める申し入れ書を提出します。
行動終了後の18~20時に屋内会場で総括集会を行います。

【呼びかけ】4・19法大 - 文部科学省行動実行委員会

<連絡先> 全学連(委員長・斎藤郁真)

050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp

法政大学文化連盟

bunren08@yahoo.co.jp



昨年10月21日、福大生とともに福大キャンパスで集会!

腐敗した「原発推進大学」を許さない！

原発事故以降、大学の腐敗が次々と暴露されています(右写真)。現在の大学は学問を金儲けの商品とし、学生の数を集めた大学がいい大学かのように宣伝しています。あれほどの大事故があっても、授業が今まで通り行われ、むしろ「節電キャンペーン」でサークルなどの学生の自主的な活動を規制し、学生から声を上げる余地を奪っています。

それでも声を上げる学生には、「原発反対デモに出れば就職できない」などと恫喝し、時には処分すら行う大学。原発を止め廃炉にしていくためには、この大学のあり方を変え、私たちの手に本当の学問を取り返さなければなりません。

学生の誇りをかけて闘う法大闘争

腐敗した大学の象徴が法政大です。私たちは、その法大のあり方と対決して法大闘争を闘ってきました。06年以來の法大闘争は、「管理強化反対で学生が声をあげデモをしたことに対し、大学が警察を導入して全員を逮捕。主催の法大生5名を停学・退学処分にしたこと」から始まりました。

以来、法大闘争は幾多の処分・弾圧をはね返し、「処分撤回」「一人の仲間も見捨てない」を掲げ闘い抜かれてきました。

法大は学生の闘いに押され、何と「営業権」を主張して入試期間中のピラマキ活動を禁圧するという、事実上の憲法停止行為に手を染めました。法大は裁判所への申立書の中で、「すべての原発をとめるために、学生は大学を変えよう！」という私たちの訴えそのものを敵視しています。

カネ儲けにあけくれる大学と、学生から自由を奪う大学は一体です。そうやって真実を奪い、ウソをついて原発政策に加担してきたのです。法大で不当処分を撤回させるこ



昨年10月28日、福島大生とともに法大デモ！



09年4・24法大集会 = 不当処分への学生の怒りが爆発！

原発推進 11大学に104億円



わずか5年間、11大学だけで104億円！
東北大学などは公表すら拒否した！
(1月22日、毎日新聞)

とと、大学から御用学者を叩き出し原発を止めることは一体の闘いです。法大闘争は昨年、福島大生と結びつき、「大学から原発止めよう！」の力強い闘いが始まりました。

教育は金儲けではなく未来のためにある

2000年に核技術開発を進める科学技術庁と文部省が統合され、文科省が誕生しました。文科省の下で04年に国立大学は法人化され、大学の商業化 = 「教育の民営化」が加速します。国立私立問わず、生き残りのために企業のカネにすがりつくようになっていきました。

まさに文科省が原発推進となることと一体で、大学の商業化が進んだのです。11年度の原子力予算は経産省の1898億円に対し、文科省が2571億円です。「もんじゅ」など核燃サイクルの技術を握る文科省こそ、原発政策の中核です。

3・11以降、被曝基準を「20^{mSv}シーベルト」に引き上げたのも文科省です。これに対し、昨年5月23日には福島のお母さんたちが立ち上がり、文科省へ撤回を申し入れました。

しかし今現在も「20^{mSv}シーベルト基準」は適用され、政府の見解も変わらず、私たちの仲間である福島大生も日々高線量の被曝を強制され続けています。

学生の力で大学を変え、社会を変えよう！

私たちは、文科省が「20^{mSv}シーベルト基準」を打ち出してからちょうど1年の4月19日に行動を呼びかけます。「フクシマの怒り」と連帯し、学生は大学から原発を止めよう。原発も処分も金儲け大学もいない。私たち学生のあり方こそが、未来の社会のあり方を決めます。全国の学友は4月19日、団結して法大デモ - 文科省包囲行動に立ちあがろう！



昨年5月23日、福島のお母さんたちが文科省に抗議！

